



南東側外観/国際センター駅直下で十分なロータリーや駅前広場を計画。青葉山公園から20mの高差を解消し追加の景観的配慮

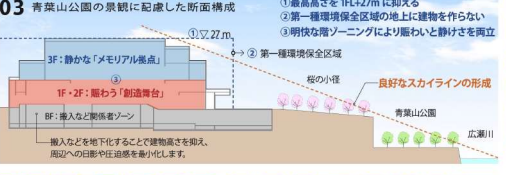


01 裏を作らない「肌」を伝えるアクティビティ・リンク
 ・フライアウェイを敷地中央に配置することで「裏を作らない」計画で、
 ・建物外周の「アクティビティ・リンク」が賑わいと活動を外に伝えます。

02 賑わう「創造舞台」
 ・大ホールに採まれた「創造舞台」が道路側から青葉山公園まで貫通します。
 ・ホールの前面を利用し、映像や展示で災害文化をわかりやすく発信します。



北西側外観/「アクティビティ・リンク」での人の活動が、そのまゝ建物の表情としてあらわれます。



03 青葉山公園の景観に配慮した断面構成
 ① 最高高さを1F+27mに抑える
 ② 第一種環境保全区域の地上に建物を作らない
 ③ 明快な階層ゾーニングにより賑わいと静けさを両立

④ 高さ22m
 ⑤ 第一種環境保全区域
 ⑥ 2F: 静かな「メモリアル拠点」
 ⑦ 1F・2F: 賑わう「創造舞台」
 ⑧ 3F: 静かな「メモリアル拠点」

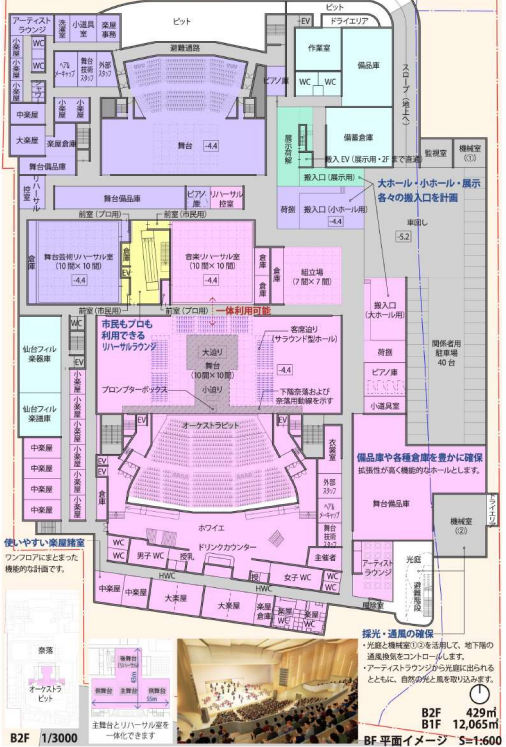
緑の小径
 良好なスカイラインの形成
 青葉山公園
 広瀬川

掘入などを地下化することで建物高さを抑え、周辺への日照や圧迫感を最小化します。



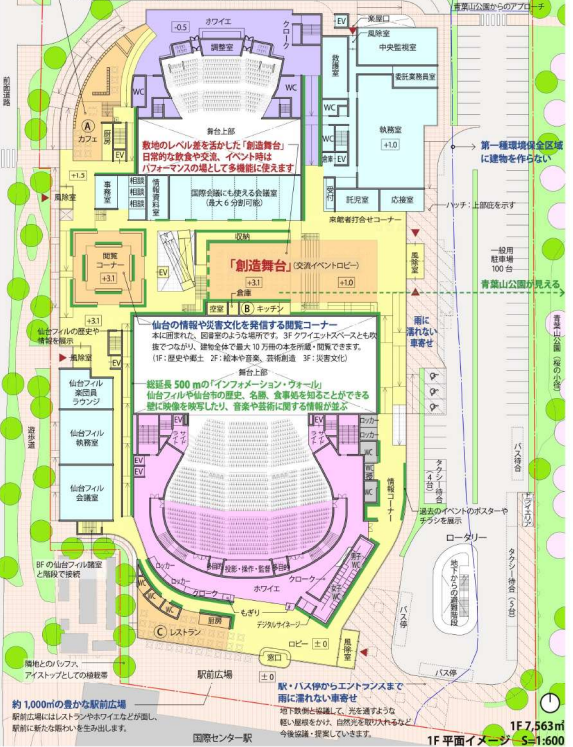
伸の高低上からの外観。青葉山公園の緑に溶け込むとともに、麓王連峰や山台城を想わせる、まちのシンボルとなることを目指します。

BF リハーサル室など裏方機能をコンパクトに集約
 ・各ホール搬入、リハーサル室などの裏方は地下に集約。搬入用EVをせむす、道具/裏方動線がつながる合理的な計画です。
 ・音楽リハーサル室は大ホールと一体化でき、多様な演出に対応。リハーサルラウンジは市民/プロの方が使えます。
 ※各ホールの仕様は想定です。
 ※今後アドバイザーの方々と協議し内容を変更します。



2F 1/3000
 BF 平面イメージ S=1:600

1F 市民に開かれた「創造舞台」
 ・約1,000㎡の駅前広場とロータリーを確保し電車で来館客の来館を、裏を作らない開放的な計画で新たな賑わいを生み出します。
 ・創造舞台、大ホール、小ホールそれぞれ専用のゾーンとし、カフェやレストランなどの飲食ゾーンをA～Cの3か所に計画します。



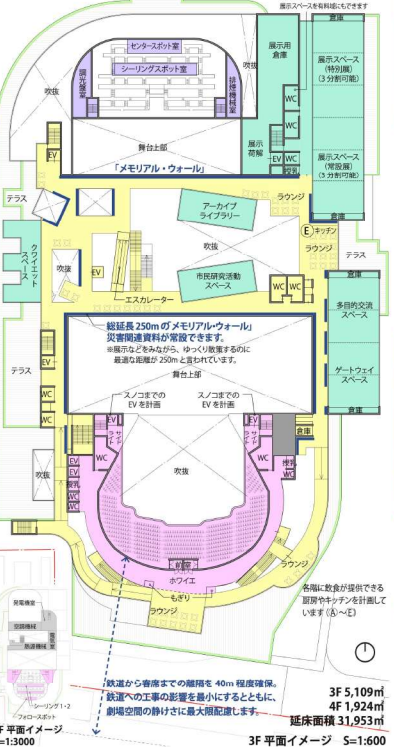
1F 平面イメージ S=1:600

2F いつもにぎわう創造支援エリア
 ・建物を取り巻く「アクティビティ・リンク」を回遊しながら、施設内の各機能にアクセスできます。
 ・練習室が吹抜けとして1階と視線的につながり、常に市街でにぎわう文化部品の拠点となります。
 ・カフェやレストランなど様々な視点から、青葉山公園の景色をながめることができます。



2F 平面イメージ S=1:600

3F 青葉山公園を望む静かな「中心部震災メモリアル拠点」
 ・3階はメモリアル拠点として、クワイエットスペースやアーカイブライブラリーを設置します。
 ・1階、2階とは異なり、静けさを重視した空間として、青葉山公園側を中心に各部屋を配置します。
 ・セットバックの形状を活かし、緑豊かな屋上デッキを多数もつて、様々な観望を提案します。



3F 平面イメージ S=1:600

04 舞台と客席の一体感を創出する小ホール
 ・各ホールの仕様は想定です。今後アドバイザーの方々と協議し内容を変更します。



05 良質で多様な講演を提供する大ホール



06 環境配慮・省エネルギー性能を追求した仙台市のZEBランドマーク的文化施設を目指す



断面イメージ S=1:600

07 芸術文化創造の場「創造舞台」



「創造舞台」はイベントやパフォーマンスの場としても使えます。

08 「メモリアル・ウォール」



創造舞台での人の活動と、災害文化や仙台の情報一望できるメモリアル空間

09 賑わう駅前広場



駅前広場にはレストランやカフェなど面し、賑わいに合わせた賑わいを生み出します。